



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

鍋屋バイテック会社



「改善活動」の推進による地球環境の保護

地球環境の保護が“ものづくり”的重要な側面であると考え、以下の例に代表される様々な改善に日々取り組んでいます。私たちは、地球に優しい、エネルギー効率・安全・質の高い“ものづくり”を通して、お客様によりよい商品を提供していきます。私たちは、社会・環境に配慮したオープンで透明性の高いビジネスに取り組んでいきます。

改善内容

熱処理工程の「溶解炉」、主にブリードの材料となる鉄鉱を溶かす工程です。

Method

過剰な材料投入 \rightarrow 適切な投入量へ

これでは過剰な材料を投入してしまうことで、電力の使用効率が落ちることを発見。入出庫を効率化する技術の導入を実現。

Material

- 砂の付いた再利用材の廃止
- 溶解炉の底をノロが付着しにくい材質に変更

ノロとは、溶解炉の底に付着する不純物です。

改善効果

電力使用量 削減効果 **750kWh/日** この削減量は、1~2人暮らしの1ヶ月の電力使用量に相当します。

地球温暖化にも貢献 **CO2排出量削減効果 0.32t-CO2/日** 1枚の木20本が1年に吸収する量と同じ!

エネルギー使用量(原単位)

上記に代表されるような改善により、エネルギー使用量(原単位)を削減しています。

改善内容

県産材の利用促進によるカーボンニュートラルへの貢献

岐阜県の県産材利用促進協議会に賛同し、県と連携して県産材利用に取組むことで、県民社会・持続可能な社会の実現を目指します。

製品の保管、輸送等に使用している木製パレット約1500枚を県産材に順次変更

森林はCO₂を吸収し、固定とともに木本として建築物などに利用することで炭素を長期貯蔵可能です。加えて、当工場で利用する木本はCO₂排出削減にも寄与します。

木本は省エネ資材(製造時の排出削減に寄与)

「伐って、使って、植える」

循環利用を進め人工林の若返りを推進(より多く吸収します)

収穫する 主伐

育てる 開伐

使う 新素材開発

- ▶ プラスチック等を代替
- 木質バイオマス利用
- 化石燃料を代替
- 都市の木造化
- ▶ 炭素を長期に貯蔵

造林・下刈り

植える

林業の成長産業化 2050年 地方創生を推進 カーボンニュートラルに貢献



鍋屋バイテック会社



詳細はこちら

